

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	901 男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	41 あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	目	19	男女共同参画費
		細目	152	男女共同参画推進経費
		細々目	53	男女共同参画講座事業経費
行革大綱の重点事項番号		1		
担当部課	コード	551000		担当者
	名称	伊賀支所 住民福祉課		氏名
			連絡先	45 - 9108 (内線) 312

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀支所管内の住民、伊賀支所職員・教職員	※対象件数
成果(どうする)	男女が性別に関係なく個人として尊重され、その個性と能力を十分に発揮し、対等な社会のあらゆる分野に参画できるよう理解を深める。	
根拠法令・要綱等	男女共同参画社会基本法、伊賀市男女共同参画推進条例	
開始年度/平成	年度	関連事業
終了年度/平成	年度	
H21 事業内容	男女共同参画セミナー 2/5 いがまち公民館ホール 演題:「あなたのバランス、わたしのバランス ～男女共同参画社会の実現に向けて～」 講師:三重県男女共同参画センター フレンテみえ 相木はるみ さん 男女共同参画週間パネル展 6月23日(火)～30日(火) 支所玄関ロビー	
社会情勢の変化等		

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
男女共同参画セミナーの開催		回	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1
			目標		目標	
			実績		実績	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
セミナー参加者数	参加者数		人	目標	150	目標	100
				実績	60	実績	98
				目標		目標	
				実績		実績	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	54		34		34		34	
Aの財源内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0		0		0	
一般財源	54		34		34		34	
事業投入人件費(B)	0.5人	3,600	0.5人	3,600	0.4人	2,880	0.4人	2,880
フルコスト(A)+(B)		3,654		3,634		2,914		2,914

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○	男女共同参画社会基本法及び伊賀市男女共同参画推進条例等に基づき、伊賀市男女共同参画基本計画が策定され、基本計画を助成した事業の実施により、男女共同参画社会の実現を推進している。
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業			
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
有効性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	○	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】 男女共同参画への取り組みは、地域で定着化していない事業であるとおもわれるので、身近な支所内での啓発は重要である。		
達成度	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。		
効率性	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】		
	予算の繰越の有無 無		
効果性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
効果性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【事業名】 受益者負担を求められることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	類似事業の実施時期を変更した。 参加者数が目標値になるよう、参加依頼の方法を文書だけでなく会議でも依頼する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 改善案を考慮した結果、成果指標が達成できた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中林 千春
【方向性】	現状維持
【理由】	伊賀支所事業は、年1回のセミナーと週間中のパネル展を開催し、また、無線放送を通じて、本庁事業の案内、男女共同参画やDVIに関する情報の発信をしている。地区別懇談会でも男女共同参画を取り入れる傾向があり、徐々にではあるが、男女共同参画社会への認識が深まってきていることから、身近なところで事業の開催が継続的に必要である為、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	・男女参画セミナーの講師選定が難しい。(予算の都合上) ・男女共同参画社会の認識度が低い。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	男女共同参画社会について理解を深めてもらう為に、平成22年度は自治協議会や各種団体にセミナーの参加を呼びかける。